

各常任委員会からの政策提言

知立市議会では、議会改革の一環として常任委員会からの政策提言を目指した取り組みを行ってきました。各常任委員会において所管する事項に関して年間テーマを設定し、調査、研究を重ね、委員会としての提言書にまとめ市長に提出するものです。

各常任委員会の取り組み

建設水道委員会 研究テーマ「インクルーシブな未来の公園づくりに向けて」

知立駅周辺整備事業における公園整備、および今後計画せれる土地区画整理事業内での都市公園の造成見込みなどから、障がいの有無、国籍などに関わらず子ども達、誰もが一緒に遊べる公園づくりが求められる。そこで、委員会として近年広まりつつある「インクルーシブ公園」について調査、研究し政策提言をするもの。

- (1) これからの公園づくりに向けて、知立市の公園の在り方を再検討。
 - ① 緑の基本計画の見直しによる、インクルーシブ概念の折込み
 - ② 先進事例の調査、研究結果の折込み
 - ③ 専門的知識の助言、多角的な視点の折込み
- (2) 民間活力を固化的に活用した公園の整備、管理運営方法の検討 (Park-PFI:公募設置管理制度)
- (3) 大規模災害に備えた、防災機能を強化した公園の検討。



東京都豊島区キッズパーク



東京都渋谷区恵比寿南2号公園

市民福祉委員会 研究テーマ「循環型社会に向けた取り組み」について

ごみ減量や美しいまちづくりに取り組んでいるが、リサイクル率は横ばいの状況である。最終処分場の維持や管理についても、見過ごすことのできない課題であり、ごみ減量の重要性を再認識していただき、循環型社会に向けた取り組みを強化していく必要があると考える。

- (1) あらたなりサイクル(古布回収、雑紙回収など)を実施し、リサイクル率の向上を目指し、資源循環施策の推進を図ること。
- (2) クリーンサンデーなどの美化活動や清掃活動の推進をあらためて図ると共に、各世代をターゲットにした循環型社会に向けた啓発に取り組むこと。
- (3) あらたな最終処分場の確保や広域化も含めた取り組みの必要性などについて、市民、近隣市と認識を共有すること。



名古屋市視察

企画文教委員会 研究テーマ「多文化共生への取り組み」について

知立市多文化共生に関する市民意識調査の結果から、日本人、外国人市民共に多文化共生という言葉の認識、理解度は低くまた、交流拠点であるもやいこハウスの知名度も低い状況。全ての人暮らし易い多文化共生社会づくりに向けての相互理解を深めることが課題としてあげられる。

- (1) 交流事業を行う、NPOやボランティア団体への支援充実と多文化共生意識の醸成。
- (2) 生活習慣や文化の理解、日本語習得機会の充実。



飯田市オンライン視察

各委員会の政策提言の詳細については、市議会ホームページをご覧ください。